

(5) 外国人

①日本人と同様な行政サービスが受けられる仕組みづくり

②市民一人一人の差別解消に向けた課題認識

	I 周知	II 体制整備①	III 体制整備②		I 周知・啓発	II 協働・連携
	外国籍市民にとって暮らしやすいまちとなる情報発信	外国籍市民にとって暮らしやすい体制づくり	外国籍市民のための生活相談・情報窓口設置		広く市民に知らせ、外国籍市民の権利擁護のための知識や姿勢を養う。周知・啓発方法及びその対象	市民団体との協働体制の確立。人権を学ぶ啓発講座、三田幸せプロジェクト
5	・情報発信をする媒体は、 <u>広報紙「伸びゆく三田」、市ホームページ</u> 、また、公共施設では、 <u>リーフレット等の設置</u> を行い広く情報提供を行う機会を設けている。 ・ <u>誰が読んでも理解できるようにわかりやすく案内が</u> されている。	保健・医療・福祉・防災・教育・就労など生命や財産に関わる情報の多言語化が十分整備されており、日本人市民と同様に <u>地域で暮らすことができる。</u>	外国語で対応可能な担当者、通訳を配置すると共に、関連専門機関との十分な連携を構築している。	5	・情報発信をする媒体は、主に啓発 <u>広報紙「人権さんだ」と市ホームページ</u> であるが、 <u>中学生以上が理解できるように説明が</u> 加えられている。学習教材としても活用されている。 ・ <u>あらゆる世代を対象に</u> 広く啓発が行われている。	・市民団体と行政の役割分担ができ、問題解決へリーダーの育成を含んだ協働体制が確立している。 ・市民が課題解決のため率先して講座を企画し、賛同する仲間を集めている。
4	・情報発信をする媒体は、主に <u>広報紙「伸びゆく三田」と市ホームページ</u> である。 ・ <u>対象者が理解できるようにわかりやすく案内が</u> されている。	保健・医療・福祉・防災・教育・就労など生命や財産に関わる情報の多言語化がほぼ整備されており、日本人市民と同様に <u>地域で暮らすことができる。</u>	外国語で対応可能な担当者、通訳を配置すると共に、関連専門機関との連携を構築している。	4	・情報発信をする媒体は、主に啓発 <u>広報紙「人権さんだ」と市ホームページ</u> であるが、 <u>成人の一般市民が理解できるように説明が</u> 加えられている。 ・ <u>関係者、関係団体、在勤在学者を対象に</u> 広く啓発が行われている。	・市民団体と行政の役割分担ができているが、問題解決は行政に任されている。 ・市民が課題解決のため講座を企画するが、行政のほうで積極的に動いておりリーダーの育成までは到達していない。
3	・情報発信をする媒体は、主に <u>広報紙「伸びゆく三田」と市ホームページ</u> である。 ・ <u>対象者がある程度理解できるように案内が</u> されている。	保健・医療・福祉・防災・教育・就労など生命や財産に関わる情報の多言語化がある程度整備されており、日本人市民と同様に <u>地域で暮らすことができる程度</u> できている。	外国語で対応可能な担当者、通訳を配置すると共に、関連専門機関との連携構築を進めている。	3	・情報発信をする媒体は、主に啓発 <u>広報紙「人権さんだ」と市ホームページ</u> であるが、 <u>人権に関心のある市民は理解できるように説明が</u> 加えられている。 ・ <u>関係者、関係団体に対する啓発が</u> 計画的に行われている。	・市民団体はあるが、 <u>行政に依存して存在</u> しており、 <u>実質的に行政主導</u> である。 ・市民には問題意識はあるが、 <u>企画以外は行政任せ</u> で講座が行われている。
2	・情報発信をする媒体は、 <u>広報紙「伸びゆく三田」となっている。</u> ・ <u>対応言語に限られており、一部の対象者への案内が</u> されている。	保健・医療・福祉・防災・教育・就労など生命や財産に関わる情報の多言語化が随時整備されており、日本人市民と同様に <u>地域で暮らすことができるのは一部のみ</u> となっている。	外国語で対応可能な担当者、通訳を配置すると共に、関連専門機関との連携構築を計画している。	2	・情報発信をする媒体は、主に啓発 <u>広報紙「人権さんだ」と市ホームページ</u> であるが、 <u>行政用語が使われており、読みづらい。</u> ・ <u>関係者、関係団体に対して啓発が行われているが、一部の世代にしか届いていない。</u>	・市民団体はあるが <u>実態は行政が運営</u> している。 ・ <u>行政が企画した講座のみで運営</u> されており、 <u>市民は参加のみ</u> している。
1	・情報発信をする媒体は、 <u>広報紙「伸びゆく三田」となっている。</u> <u>情報量が少なく見過ごしてしまう。</u> ・ <u>日本語のみの表記のため対象者にとって、理解が非常に難しい。</u>	保健・医療・福祉・防災・教育・就労など生命や財産に関わる情報の多言語化を検討しており、日本人市民と同様に <u>地域で暮らすことは難しい。</u>	窓口設置の予定はない。	1	・情報発信をする媒体は、主に啓発 <u>広報紙「人権さんだ」と市ホームページ</u> であるが、 <u>行政用語・専門用語が使われており、読みづらいのに、補足説明がない。</u> ・ <u>イベント開催時</u> にのみ啓発が行われている(情報発信量は少ない)。	・市民団体はあるが、 <u>行政とは相容れず、連携がとれない。</u> ・市民は全く、 <u>行政の企画した講座には関心を示さない。</u>
評定(加重平均)	3.4	3.3	3.3	評定(加重平均)	3.4	3.8

③民族名を名乗ることのできる環境づくり ⑤異文化や多様な価値観の理解を深める交流・学習活動

	I 周知	II 啓発	II 体制整備①	IV 体制整備②
	異文化や多様な価値観の理解を深める交流・学習活動	共生の心を育む教育の充実	学習機会の充実	交流事業の充実
5	・情報発信をする媒体は、 <u>広報紙「伸びゆく三田」、市ホームページ</u> 、また、公共施設では、 <u>リーフレット等の設置</u> を行い広く情報提供を行う機会を設けている。 ・ <u>誰が読んでも理解できるようにわかりやすく案内が</u> されている。	自分の民族的同一性を確立する教育と、外国籍の子どもに対する理解を促す教育及び状況に応じた支援を、教育行政・学校園教育・社会教育のそれぞれが <u>積極的に進めている</u> 。	外国の文化や習慣などについて学び、国際感覚や多文化共生意識を育む講座・セミナーなどの学習機会や日本語・外国語学習の機会が <u>とても充実している</u> 。	外国人市民と日本人市民がふれあい、互いの文化への理解を深め、人と人とのつながりをより強めていけるよう、市民・各種団体と連携しながら交流事業の充実を図り、外国人市民と日本人市民の交流を <u>積極的に進めている</u> 。
4	・情報発信をする媒体は、主に <u>広報紙「伸びゆく三田」と市ホームページ</u> である。 ・ <u>対象者が理解できるようにわかりやすく案内が</u> されている。	自分の民族的同一性を確立する教育と、外国籍の子どもに対する理解を促す教育及び状況に応じた支援を、教育行政・学校園教育・社会教育のそれぞれが <u>進めている</u> 。	外国の文化や習慣などについて学び、国際感覚や多文化共生意識を育む講座・セミナーなどの学習機会や日本語・外国語学習の機会が <u>充実している</u> 。	外国人市民と日本人市民がふれあい、互いの文化への理解を深め、人と人とのつながりをより強めていけるよう、市民・各種団体と連携しながら交流事業の充実を図り、外国人市民と日本人市民の交流を <u>進めている</u> 。
3	・情報発信をする媒体は、主に <u>広報紙「伸びゆく三田」と市ホームページ</u> である。 ・ <u>対象者がある程度理解できるように案内が</u> されている。	自分の民族的同一性を確立する教育と、外国籍の子どもに対する理解を促す教育及び状況に応じた支援を、教育行政・学校園教育・社会教育のそれぞれが <u>ある程度進めている</u> 。	外国の文化や習慣などについて学び、国際感覚や多文化共生意識を育む講座・セミナーなどの学習や日本語・外国語学習が <u>進められている</u> 。	外国人市民と日本人市民がふれあい、互いの文化への理解を深め、人と人とのつながりをより強めていけるよう、市民・各種団体と連携しながら交流事業の充実を図り、外国人市民と日本人市民の交流を <u>ある程度進めている</u> 。
2	・情報発信をする媒体は、 <u>啓発広報紙「伸びゆく三田」となっている</u> 。 ・ <u>対応言語に限られており、一部の対象者への案内が</u> されている。	自分の民族的同一性を確立する教育と、外国籍の子どもに対する理解を促す教育及び状況に応じた支援は、教育行政・学校園教育・社会教育のそれぞれにおいて、 <u>あまり進められていない</u> 。	外国の文化や習慣などについて学び、国際感覚や多文化共生意識を育む講座・セミナーなどの学習や日本語・外国語学習が <u>あまり進められていない</u> 。	外国人市民と日本人市民がふれあい、互いの文化への理解を深め、人と人とのつながりをより強めていくための市民・各種団体と連携した交流事業が十分でなく、外国人市民と日本人市民の交流が <u>遅れている</u> 。
1	・情報発信をする媒体は、 <u>広報紙「伸びゆく三田」となっている</u> 。 ・ <u>情報量が少なく見過ごしてしまう</u> 。 ・日本語のみの表記のため対象者にとって、 <u>理解が非常に難しい</u> 。	自分の民族的同一性を確立する教育と、外国籍の子どもに対する理解を促す教育及び状況に応じた支援は、教育行政・学校園教育・社会教育のそれぞれにおいて <u>全く進んでいない</u> 。	外国の文化や習慣などについて学び、国際感覚や多文化共生意識を育む講座・セミナーなどの学習や日本語・外国語学習が <u>全く進んでいない</u> 。	外国人市民と日本人市民がふれあい、互いの文化への理解を深め、人と人とのつながりをより強めていくための市民・各種団体と連携した交流事業が <u>全く進んでいない</u> 。
評定 (加重平均)	3.3	3.3	3.4	3.8

④外国籍市民の声を市政に反映させるシステムづくり

	I 周知・啓発 市政への反映状況及び参加案内	II 体制整備 まちづくりへの参加促進
5	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信をする媒体は、<u>広報紙「伸びゆく三田」、市ホームページ</u>、また、公共施設では、<u>リーフレット等の設置</u>を行い広く情報提供を行う機会を設けている。 ・<u>誰が読んでも理解できるようにわかりやすく案内が</u>されている。 	<p>審議会・委員会等施策形成の場へ外国籍市民に参加してもらうため、<u>国際交流プラザをはじめ、関連機関との十分な連携</u>ができている。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信をする媒体は、主に<u>広報紙「伸びゆく三田」と市ホームページ</u>である。 ・<u>対象者が理解できるようにわかりやすく案内が</u>されている。 	<p>審議会・委員会等施策形成の場へ外国籍市民に参加してもらうため、<u>国際交流プラザをはじめ、関連機関との連携</u>ができている。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信をする媒体は、主に<u>広報紙「伸びゆく三田」と市ホームページ</u>である。 ・<u>対象者がある程度理解できるように案内が</u>されている。 	<p>審議会・委員会等施策形成の場へ外国籍市民に参加してもらうため、<u>国際交流プラザをはじめ、関連機関との連携構築を進め</u>ている。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信をする媒体は、<u>広報紙「伸びゆく三田」となっている。</u> ・<u>対応言語に限られており、一部の対象者への案内が</u>されている。 	<p>審議会・委員会等施策形成の場へ外国籍市民に参加してもらうため、<u>国際交流プラザをはじめ、関連機関との連携構築を計画</u>している。</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信をする媒体は、<u>広報紙「伸びゆく三田」となっている。情報量が少なく見過ごしてしま</u>う。 ・<u>日本語のみの表記のため対象者にとって、理解が非常に難</u>しい。 	<p>審議会・委員会等施策形成の場へ外国籍市民に参加してもらうための<u>関連機関との連携ができていない</u>。</p>
評定 (加重平均)	3.0	3.6